

# 毛髮遺伝子研究所

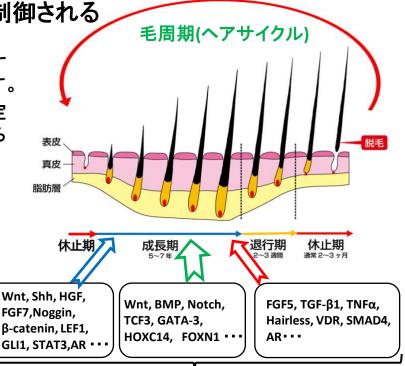
# 毛髪成長のしくみを遺伝子から解明

★毛髪の成長は毛周期で制御される

毛髪の成長に影響を及ぼす 遺伝子が多数見つかっています。 これらの遺伝子は毛周期の特定 の時期に活性化されると考えら れます。



「毛包」 毛髪の成長器官。 毛包の中では、 毛周期を動かすのに、 多数の遺伝子シグナ ルが関わっています。



<毛周期に関わる多数の遺伝子群>

### ★FGF-5遺伝子―毛成長の鍵

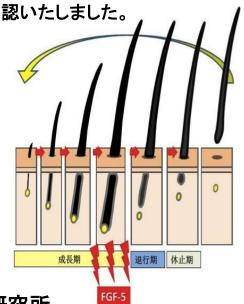
多数ある遺伝子の中でも、FGF5こそが 毛の長さを決定する最も重要な遺伝子です。 FGF5遺伝子には、毛を成長期から退行期へ と移行させる働きがあります。

FGF5が働かなくなると、成長期が長くなるので毛は長く伸びるようになります。



<FGF5遺伝子が働かないマウス>

当社では臨床試験を実施し、 FGF5の働きを抑えることで、脱毛を抑制し、成長期が延長することを確認いた。ました



株式会社アドバンジェン 毛髪遺伝子研究所

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉5-4-19 東大柏ベンチャープラザ309号室 http://advangen.jp



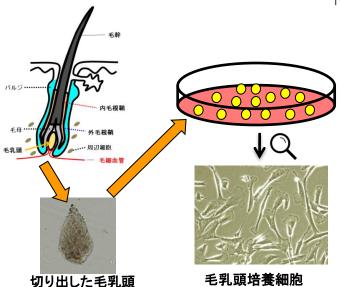
# 毛髮遺伝子研究所

# 科学データに基づく育毛剤の開発

#### ★遺伝子解析

毛周期の詳細なしくみを解明する ことは、より効果的な有効成分を 開発する上で重要です。

当研究所では、細胞の中にある 遺伝子の発現量をリアルタイムに 測定し、毛周期中でのFGF5遺伝子 の働きに関する詳細な解析を 行っています。



FGF5遺伝子の活性変化



### ★細胞培養

成長期延長による育毛効果を 調べるためには、生体内での 働きを忠実に反映するような 細胞の調製が必要です。

毛成長の司令塔「毛乳頭」の 培養細胞を始めとして、毛周期 に関与する細胞を用いた、当社 のオリジナルメソッドによって、 成長期を評価することができま す。

## ★和漢植物から育毛成分の探索

当社では、これまでに2000種類以上の 植物を探索してきましたが、引き続き、 新規成分の開発を目指して、中国原産 の薬用植物の活性探索を行っています。 全草での効果検討 中国 瀋陽薬科大学との共同研究で、 大学が植物資源の提供、及び、薬学的 検討を、当社が有効成分の探索試験を 担当しています。



瀋陽薬科大学の共同研究室



#### 株式会社アドバンジェン 毛髪遺伝子研究所